

道徳科 小学校第5学年 単元名：本当の友情とは (全3時間)

授業者：四万十市立東中筋小学校 田中 祐人 児童生徒：12人

【単元のねらい】

「本当の友情とは」というテーマを多面的に考えることを通して、今まで自分が友達との付き合い方の中で感じてきたことを基とし、優しく接するだけでなく、相手の置かれている状況、立場を思いやり、相手を信じ、理解することを生活に生かそうとする態度を育む。

【単元を通して引き出したい児童生徒の考え】

- ・困っている友達にはすぐに手を貸してあげたいけれど、友達のために黙って見守ることも必要だと思った。
- ・今までは友達とすぐにもめてしまっていたけれど、相手の意見を受け入れて、相手のことも考えることが大切だと思った。
- ・自分にも離れてしまった友達がいるけれど、会えなくても相手を思うことが友情だと思った。
- ・本当の友情とは友達同士信じ合うことだと思った。自分も信頼される人に近付けるように頑張りたい。

単元構想

時	実施日(時限)	主題名・内容項目(関連項目)	教材名(出典)	主な学習活動
1	11月11日 (3時間目)	寛容な心 【相互理解、寛容 B(11)】	半助の投あみ (廣済堂あかつき)	<ul style="list-style-type: none">・半助を笑う万七の様子を、役割演技を通して考える。・半助の家での努力の様子を知った万七の気持ちについて考える。・後日の万七と半助の様子を、役割演技を通して考える。・二人の様子から寛容な心について考える。
2	11月18日 (3時間目)	互いを尊重する友情 【友情、信頼 B(10)】	章太と浩二 - 二つの笑顔 - (廣済堂あかつき)	<ul style="list-style-type: none">・書店で小川さんに会った時の章太と浩二の二人の気持ちの違いを考える。・二人のぎくしゃくした気持ちの理由を考える。・同性、異性を問わないよりよい友情を育むには、どのようにすればよいか考える。
3	11月27日 (5時間目) (本時)	真の友情 【友情、信頼 B(10)】	友の肖像画 (廣済堂あかつき)	<ul style="list-style-type: none">・正一の絵を見て涙を流す和也の気持ちを考える。・離れていても正一の和也に対する深い友情に、胸を熱くする和也の気持ちを考える。・自分の生活を振り返り、友達との関係について自己を見つめなおす。

【主題名】 真の友情		【友情・信頼】 B-(10)	【教材名】 友のしょう像画（廣濟堂あかつき）
【本時のねらい】 作品に胸を熱くする和也の思いを通して、改めて友情のすばらしさに気づき、自身の生活を振り返り、互いに信頼し支え合う友情を大切にする道徳的心情を育む。			
【指導の要点】 正一の作品に胸を熱くする和也の気持ちに焦点を当てることで、離れていても友達のことを思う正一の友情から自身の生活を振り返り、これまでの自身の友達関係や友達への接し方を見つめ直す考えを引き出したい。			
【主題に関わる児童生徒の実態】		【授業を通して引き出したい児童生徒の考え】	
<ul style="list-style-type: none"> 良好な人間関係を築きつつあるが、多感な年齢でもあり、友達とのやり取りの中でも、自身を守るため、言いたいことを言いつらい児童が多い。 男女間での仲は良いが、積極的に話そうとする児童と、そうでない児童に分かれ、友達関係に偏りが出て来つつある。 幼いころから同じ人間関係の中で成長してきているため、離れた友達を思うことが生活経験として乏しい。 		<ul style="list-style-type: none"> 正一は離れていても和也のことを思って作品を作り続けていてすごいな。本当の友情だな。 今まで仲が良く、近くにいる人が友達だと思っていたけれど、離れていても互いを思うことが大切だな。 これから自分たちも進路が分かれて、離れ離れになっても、お互いを思いあえる信頼関係を築いていきたいな。 友情にはいろんな形があるけれど、自分にできることを少しずつ頑張っていこう。 	
指導上の工夫		板書計画（ポイントのみ）	
自分自身との関わりで考えるための工夫	<ul style="list-style-type: none"> 終末で自身の生活を振り返ることで、二人の信頼関係のような友達との付き合い方について主体的に考える。 心情メーターを使うことで、和也の正一への友情が薄れていく様子を、理由を持って考える。 		
多面的・多角的に捉えるための工夫	<ul style="list-style-type: none"> ユニットのテーマを統合的に考えることで、友情について多面的に考える。 立場を変えて正一の気持ちを考えることで、和也と正一の友情のすれ違いについて考える。 		
主題に迫るための工夫	<ul style="list-style-type: none"> ユニットで学習した内容を振り返られるようにしておき、テーマについて常に関連付けて考えられるようにする。 終末の振り返りで、本時だけでなく前時までを統合した「本当の友情」について考えることで、ユニットのテーマに迫る。 		

【学習指導過程】

	学習活動と主な発問（○）、補助発問・問い返し（◆）、留意事項（・）	児童生徒の反応
導入	<p>1. 本時の学習課題を知る。</p> <p>◆本当の友情とは何でしょう？</p> <p>・前時までの既習事項を想起させながら考えさせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・相手を許せる心 ・男女関係なくみんな平等に接すること ・自分のことを分かってくれて、自分も相手のことをわかろうとすること。
展開	<p style="text-align: center;">テーマ：「本当の友情とは」</p> <p>2. 二人の状況を整理する。</p> <p>○手紙が来なくなったとき、和也の正一への思いはどうなっていったでしょう？</p> <p>・心情メーターを操作させ、和也の正一への思いが薄れていく様子を表す。</p> <p>3. 肖像画を見たときの和也の涙のわけを考える。</p> <p>○ どうして和也は作品の前で涙を流したのでしょうか。</p> <p>◆ 正一はどんな思いで肖像画を掘り続けていたでしょう。</p> <p>4. 正一の深い友情に胸を熱くする和也の気持ちを考える。</p> <p>◎ 電車の中で目をつむりながら、和也はどんなことを考えていたでしょう。</p> <p>5. 本時のテーマについて考える。</p> <p>○これまでの3時間を通して、「本当の友情」とはどのようなものだと思いますか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡もとれないし、心配だと思うな。 ・手紙も返ってこないし、少しずつ気持ちが離れている気がするな。 ・離れていても正一が自分のことをずっと思っていてくれてうれしいという涙。 ・自分は手紙が来なくなって気持ちが冷めていたけれど正一は、ずっと自分のことを思っていてくれてありがとうという気持ち。 ・正一に対して申し訳ないという気持ち。 ・和也に見てもらいたいな。 ・手紙が出せなくて申し訳ないけど、この完成した絵を見てほしいな。 ・ずっと自分のことを思っていてくれてありがとう。 ・僕は正一のことを手紙が来なくなってちょっと気にしていなかった時期もあったけど、その理由がわかってうれしい。 ・僕の方はあまり気にしていないように感じさせて申し訳ない。 ・正一は離れていてもずっと和也のことを考えていてすごいな。本当の友情だな。 ・これからはどこにいても友達のことを思える友情を築いていきたいな。 ・友情にはいろんな形があるけど、自分にできることを少しずつ頑張っていこう。
終末	<p>5. 学習を振り返る。</p> <p>○ 今日を含めて、今までの学習を通して考えたり、思ったりしたことを考えよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今日の学習を通して、新しく友情について深められたな。 ・今まで以上にこれからも、友達との仲について考えていこう。

【評価の視点】

自和也の正一への思いについて自己との関わりの中で考え、自分の友達に対する考えを深めている発言や記述が見られる。

多立場を変えて正一の視点で考えることで、相手を理解したり、相手の立場に立って考えたりすることの大切さに気付いている発言や様子が見られる。